Chiiki Base

地域資源活用・
地域連携サポートセンター

# 地域資源・農林水産物を

## 活用したい事業者のための相談窓口

01

045-633-5215

神奈川県横浜市中区尾上町5-80
中小企業センター2F

運営会社：株式会社コンサラート

# Contents


1 Chiiki Base ー地域資源活用・地域連携サポートセンターとは

2 個別相談窓口

3 商品開発のためのプランナー派遣制度

4 研修会・講習会（人材育成）

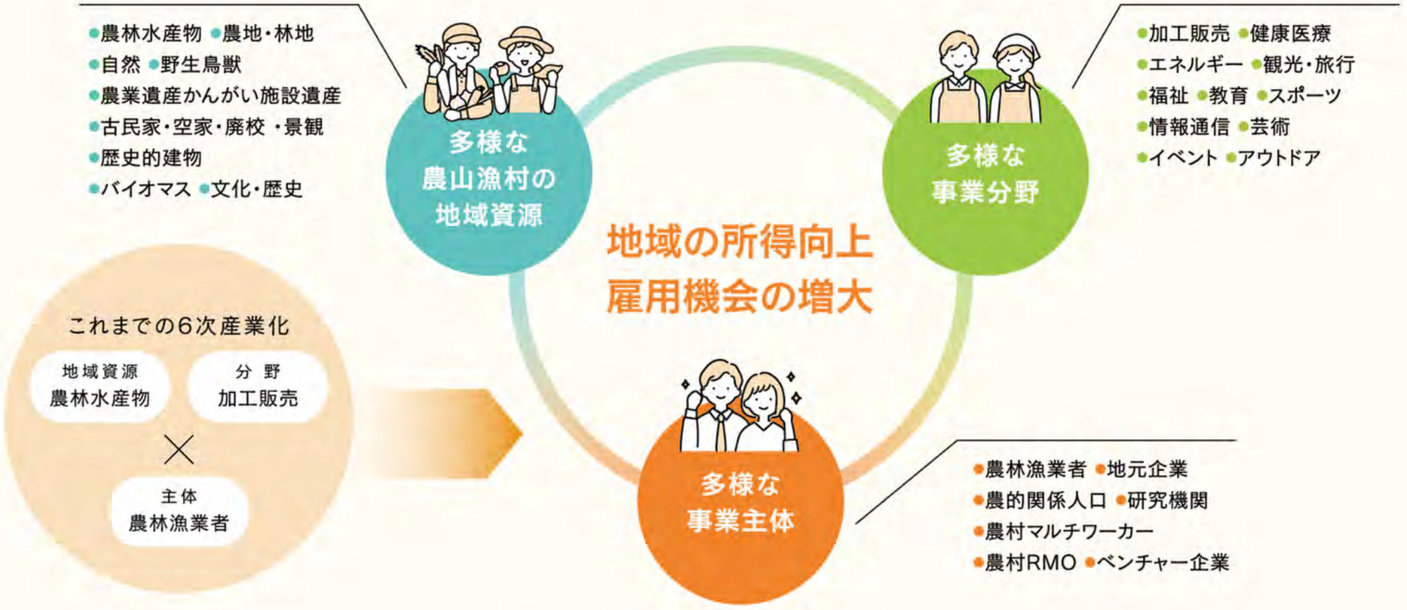
5 研修会・講習会（デジタル活用・スキルアップ）

6 支援事例コラム1

7 支援事例コラム2

# 地域資源活用・地域連携サポートセンターとは

## 地域資源・農林水産物を活用したい事業者のための相談窓口です



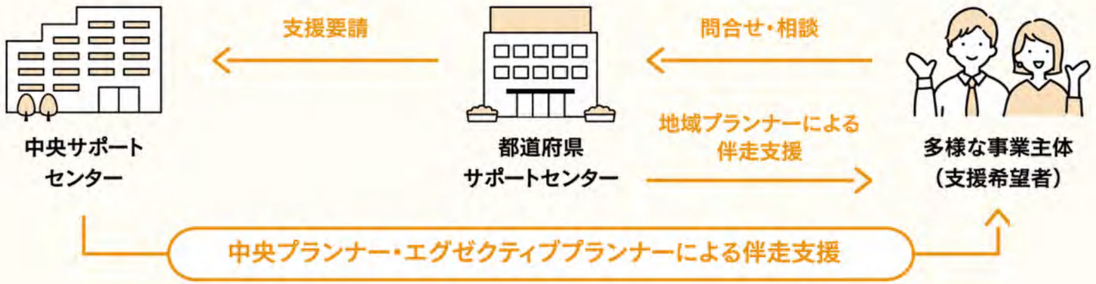

主に下記の事業を
行っています。

**01** 個別相談窓口の設置

**02** 商品開発のための
プランナー派遣制度

**03** 研修会の開催

### 地域資源活用・地域連携サポートセンターによる支援



# 個別相談窓口

費用無料

## お気軽に電話・メール・オンラインでご相談いただけます。

作った商品が思うように売れない

サービス作りの進め方がわからない

宣伝や業務の効率化のためにSNS等を活用したい

商品サービス開発に利用できる制度を知りたい

上記のようなお悩みを抱える方に対して各種相談を受け付けています。

**具体例**

- 生産者・事業者を問わず、地域資源を活かした取り組みを検討されている方が対象です。
- 地域資源・農林水産物を活用した新商品を作りたいが、どこから進めて良いかわからない。
- 地域の農林水産物等の素材を使った新たな商品開発をしたい。
- 地元の自然を舞台にしたエコツーリズム・自然体験サービスを開発したい。
- 廃棄されがちな農林水産物や加工残渣を活用したアップサイクル商品を開発したい。
- 事業者と連携して民泊、農家レストラン等の事業を始めたい、利用できる補助制度が知りたい。

**相談の流れ**

1. お電話(045-633-5215)もしくは県ホームページのお問い合わせフォームより承ります。
2. お電話もしくはメール、オンライン（Zoom）等によりアドバイスを行います。

県HPはこちら

# 商品サービス開発のためのプランナー派遣制度

費用無料

## 地域資源・農林水産物等を活用した事業の売上増加、所得向上を目指すために
## 売上増加・業務改善を目指す農林漁業者に、専門家（プランナー）を無料で派遣

**具体例**

- 生産者・事業者を問わず、地域資源を活かした取り組みを検討されている方
- 地域の事業者と連携して民泊、農家レストラン等のコンセプト設計、計画づくりをしたい方
- 地元の自然を舞台にしたエコツーリズム・自然体験サービスの開発やPRをしていきたい方
- 廃棄されがちな農作物や加工残渣を活用したアップサイクル商品のレシピ開発、デザイン開発をしたい方

### 申込～支援までの流れ

1. 申込（応募期間あり）
2. サポートセンターにて事前ヒアリング
3. 地域委員会にて面接審査
4. 審査結果のご連絡
5. 支援開始

（支援計画作成後、プランナー派遣開始）

### 留意事項

- 申込書にて3～5年間の計画を記入し、決算書と合わせて提出してください。
- 支援を受ける方は、支援後3～5年間にあたって規定の様式による経営改善状況報告、決算書の提出が必須となります。
- 審査の結果、支援を受けられない可能性があります。
- その場合には個別相談等をご利用ください。

# 研修会・講習会

## 人材育成のご紹介

# 【地域資源・農林水産物の価値を再発見！体験型研修会】

神奈川県の地域資源・農林水産物の魅力を活かした新たな挑戦を応援します。
地域の特産品開発や体験農園プログラムの企画など、付加価値の高い取り組みを目指す
実践的な研修会を開催いたします。

■開催概要

- 参加費：無料
- 対象：初級者
- 内容：
  - 地域産品の商品開発方法
  - 農業体験サービスの企画立案
  - 食品衛生の基本
  - 収益管理の基本知識
  - 加工品づくり実習

自らが携わる農林水産物に新たな可能性を見出し、
地域の魅力を存分に引き出すためのノウハウを習得できます。
会場では生産者同士のグループワークも好評です。

# 研修会・講習会

## デジタル活用スキルアップ講座のご紹介

# 【農林漁業者のためのデジタル活用プロモーション講座】

■開催概要

- 参加費：無料
- 対象：初級者
- 内容：　＊R6年度実施例
  - デジタルマーケティング基礎
  - SNS投稿・動画作成実習
  - 生産者の取組事例紹介
  - 商品撮影・画像編集実習

90分で作ってみよう！
Canva
使い方講座

もっと効果的に商品をPRしたい

SNSを販売促進に活用したい

隙間時間で効率よくプロモーションしたい

**現場で即実践できる！**
基礎知識から実践テクニックまで、明日から使える実用的なノウハウを習得

**経験豊富な講師陣！**
SNSマーケティングの専門家やプロカメラマンから直接学べる

**少人数制ワークショップ！**
商品撮影や動画編集など、実践的なスキルを丁寧に指導

# 支援事例コラム

## パッケージデザイン支援の現場をご紹介！

### 希少なサツマイモを
### 価値をつけて販売したい！

神奈川県内の生産者が伝統的な栽培方法で作られる特徴的な味わいのサツマイモ。根強いファンはいるものの、まだ売り場での展開が限られ、一般の消費者への認知度は低い状態でした。

より多くの方に知っていただくため、新たに贈答用の箱のデザインを手がけることに。まずは伝えたいことの整理から始め、誰に知ってもらいたいのか、どう思ってもらいたいのかを明確にし、そこからデザインイメージの検討を重ねました。

支援の過程では、消費者への訴求だけでなく、生産者が持つ誇りや伝統を表現することの大切さにも気がつきました。これらの要素を整理して落とし込まれたデザインは、伝統と誇りを感じられつつ、新しい層にも受け入れやすい仕上がりとなり、次期販売シーズンからデビューする予定です。

# 支援事例コラム

## 農業生産管理の現場をご紹介！

### インバウンドの成長機会を捉えるために！

神奈川県内のいちご農園から相談がありました。現在、いちご狩りや野菜の収穫体験を提供しているものの、来園者の大半は国内（特に県内、首都圏）のお客様でした。

近年のインバウンド需要の高まりと、農園内に外国語対応可能な人材がいる強みを活かすため、J-GAP認証の取得を目指すことに。これにより「管理された安心できる農園」として海外からの来客増加を狙いました。

GAPは生産工程の管理と安全な農作物の生産を認証する制度です。GAP指導員資格を持つプランナーと共に、栽培技術だけでなく、食品安全や労働安全など、多岐にわたる項目を見直しました。

特に農場内の整理・整頓・清掃の徹底により、作業効率の向上といった副次的な効果も得られました。プランナーの支援のもと農園整備を進め、近くJ-GAP審査に臨む予定です。